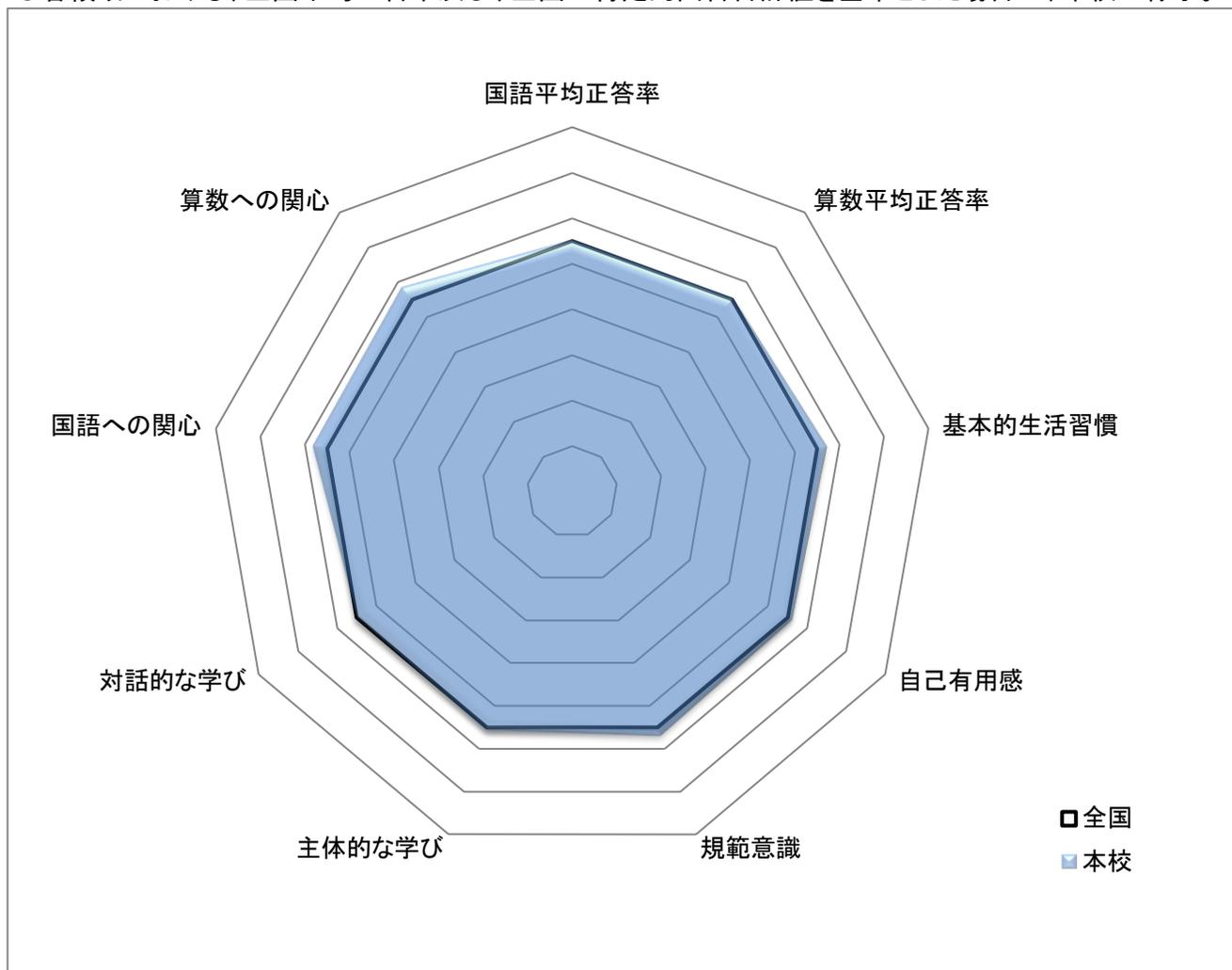


●各領域における、全国平均正答率及び、全国の肯定的回答合計値を基準とした場合の、本校の様子。



《現状把握》

- ・朝食を9割以上が食べて登校しているが、1割近い児童は食べていない。
- ・就寝時間と起床時間が一定しており、生活習慣が身に付いているといえる。
- ・国語では、目的に応じて伝える内容を考えることが難しいと感じている児童が多い。
- ・自分には良いところがあることを自覚している児童が9割いる。
- ・算数の問題にはあきらめずに意欲的に取り組める。
- ・算数の問題を別の時方で考えようとする意識が低い。

《授業改善のポイント》

- ・児童の良さを的確に褒めたり、自分の意見をたくさん言える場を多く設定することで自信をもって自分の意見が言えるような授業に取り組んでいく。
- ・国語では、目的に応じて話すための材料を集める時間や自分の意見を伝える設定の工夫を行っていく。
- ・算数では、コースによっては児童同士の様々な解き方の発表の場を設定し、興味を持てるような授業展開に取り組む。

《チャートの特徴》

- ・全体的に平均値が取れている。
- ・勉強の大切さや授業への理解度が高く、算数や国語への関心は高い。
- ・国語や算数の平均正答率が若干低い傾向にある。

《家庭・地域への働きかけ》

就寝や起床時間が一定していることは記載したが、就寝が遅かったり、起床時間が遅かったりする状態の一定は別であるため、早寝早起き朝ごはんの徹底と生活習慣を身に付けられるよう学校とも連携を取っていく。宿題や持ち物の確認を行ってもらう。